

奈良町宣言 2 1

- ・「奈良」・「奈良町」は、和鋼3年・西暦710年の平城京遷都に始まり、“大和は国のまほろば”と称される古都であり、1300年の歴史の間、様々な出来事をくぐり抜けてきました。
- ・伝統的町家の残る町並みの元興寺界隈が1970年代から80年代にかけて再び衰退することを憂えた20代・30代の若者が、79年に歴史的町並みの保全・再生と活性化を求めて立ち上がりました。
- ・彼らの活動は行政をも動かし、奈良町都市景観形成地区指定や行政投資が行われ、今日見られるように、かつての賑わいと子どもたちの声も聞こえるまちを取り戻しました。
- ・最初の立ち上がりから25年となり、変動の激しい奈良町を見直し、改めて事後の展望を切り開いていくべき時期でもあります。
- ・今回、奈良町の有志の実行委員会により『賑・ならまら25』(11/6～11/23)が繰り広げられ、その一環として、「奈良町25年から世界に発信 - 響きあうまちへ - 」をテーマに『奈良町フォーラム』を開催しました。
- ・多くの方々から述べられたことは、歴史・自然・生活文化の揃った奈良町はこれからも地元だけのものではなく、国内、海外にとっても貴重な資源であるとのことでした。
- ・また、奈良町は「生活があつてのまち」「歩いて楽しめ、暮らせるまち」であることが基本であります。
- ・これらの貴重な資源を後世に引き継いでいくことが私たちの責務であり、これからも学び、心の安らぎの得られる地として、国内、海外から期待が寄せられています。私たちの経験を活かし、アジアを始め世界各地のまちづくりと協働していきたいと考えます。
- ・『奈良町フォーラム』に参加した私たちは、次のようなまちづくりをめざしていきたいと考えます。
子ども・高齢者・障がい者等にやさしく、生きがいの感じられる「安全・安心のまちづくり」
歴史都市の資源(ストック)や伝統的な居住を活かした「総合的な再生・利活用型のまちづくり」
市民・NPO・行政が連携し、「市民主体の地域運営のまちづくり」
奈良の芸術・精神・教育を顕現する「サロン・文化・交流機能を付加したまちづくり」
奈良町とその周辺の地域を個性ある界隈として、ネットワークする「魅力的な空間の広がるまちづくり」
- ・奈良町内外の多くの方々の今後とも変わらないご支援をお願いして、「奈良町宣言21」といたします。

2004年(平成16年)11月21日

『奈良町フォーラム』参加者&社団法人奈良まちづくりセンター

奈良町25年から世界に発信 - 響きあうまちへ -

奈良町フォーラム(2004年11月19・20・21日)